

2020 年度冬期 広島大学日本語・日本文化特別研修（中国）募集要項

広島大学森戸国際高等教育学院

各位

日頃より広島大学との交流に御尽力いただき深く感謝申し上げます。

この度、広島大学森戸国際高等教育学院では、日中の相互理解を促進する人材育成の一環として、2020 年度冬期広島大学日本語・日本文化特別研修をオンライン形式にて実施致します。貴学において本研修に参加いただける学生様がおられましたら、是非ともご推薦賜りたく、御案内申し上げます。

なお、誠に勝手ではございますが、ご推薦いただきました学生様の参加の可否につきましては広島大学が決定することをご了承ください。

記

1. 名称：2020 年度冬期 広島大学日本語・日本文化特別研修（中国）
2. 実施場所：オンライン
3. 日程：2021 年 1 月 25 日（月）～2 月 5 日（金）
（別添日程表(案)をご参照ください。但し、日程は今後多少変更する可能性があります。）
4. 費用：広島大学に支払うもの：
研修費 10,000 日本円
（研修費の支払方法は海外送金になります。手数料については自己負担になります。振込方法について申込者に後日案内いたします。）
別に各自で支払うもの：
教材費（けん玉、折り紙、風呂敷を自国内で購入してください。）
5. 対象学生：
（1）中国の大学の正規課程に在籍し日本語・日本文化を学んでいる方
（2）一年程度以上の日本語学習歴のある方
6. 募集人数： 30 名程度 （応募多数の場合は選考することがあります。）
7. 修了証書と成績証明書： 修了証書と成績証明書を交付
8. 申込み方法・締切り・問い合わせ先など
（1）(a)から(d)を取りまとめの上、huncnc@hiroshima-u.ac.jp まで添付書類でお送り下さい。

(a)推薦名簿(推薦教員作成)*

(b)参加申込書(参加希望学生作成)*

* (a)推薦名簿は Word で、(b)参加申込書は Excel でデータをお送り下さい。

(c)顔写真(一ヶ月以内に撮影した電子ファイル jpeg を添付してください。)

(d)成績証明書(英文或いは中文で前年度の全科目の成績が記載されているもの)

(2) 募集締切：2021 年 1 月 6 日 (水)

(3) 申込み・問合せ先：

広島大学国際室国際部グローバル化推進グループ

739-8514 広島県東広島市鏡山 1-7-1 学生プラザ 3 F

唐 晨

huncnc@hiroshima-u.ac.jp

※受取後 3 日以内に受領確認のメールを送ります。返信がない場合は、お問い合わせください。

2020年度冬期広島大学日本語・日本文化特別研修(オンライン)日程

日	曜日	午前				午後		
		一コマ	休憩	二コマ	昼休憩	三コマ	休憩	四コマ
		08:45-10:15		10:30-12:00	12:00-12:50	12:50-14:20		14:35-16:05
1月25日	月			開講式・オリエンテーション		日本文化		学生交流・相互学習
1月26日	火			日本語		日本文化		学生交流・相互学習
1月27日	水			日本語		日本文化		東広島市歴史文化研修
1月28日	木			日本語		日本文化		学生交流・相互学習
1月29日	金			日本語		日本文化		広島市歴史文化平和研修 原爆資料館・平和公園
1月30日	土							
1月31日	日							
2月1日	月			日本語		日本文化		学生交流・相互学習
2月2日	火			日本語		日本文化		留学説明会・研究室訪問
2月3日	水			日本語		日本文化		学生交流・相互学習
2月4日	木			日本語		日本文化		宮島歴史文化研修
2月5日	金			日本語		日本文化		成果発表会・修了式

※日程は諸事情により変更する場合があります。

2020年度冬期 広島大学日本語・日本文化特別研修（中国）実施予定授業 学生交流・相互学習内容 概要

注意：（１）授業内容は変更する場合があります。

（２）参加者の日本語能力に応じて、この他に「初級日本語」のクラスを※をつけた授業と同じ時間に設ける予定です。いずれを受講するかは研修生の希望によります。

初級日本語クラスを選択した場合は※の授業を受けることはできません。

（※の授業は、「十分に」理解するためには日本語能力試験N2以上程度の、ある程度理解するためにはN3以上程度の日本語能力を必要とします。しかし、それ以下の日本語能力の研修生も受講してもかまいません。）

日本語	※	石原 淳也 准教授 (森戸国際高等教育学院)	日本語音声学・音韻論 日本語の中で、どのような音声が使われているか、また、どのような規則があるかについて解説します。
	※	佐藤 暢治 教授 (国際協力研究科)	教室では習わない日本語 知っておくと、何かの役に立つ日本語の表現について学びます。
		高永 茂 教授 (文学研究科)	季語を通して学ぶ日本の文化 「季語」を解説しながら日本文化を紹介します。俳句の作り方についても説明します。できれば実際に俳句を作ってもらいたいと考えています。
	※	深見 兼孝 准教授 (森戸国際高等教育学院)	現代日本語の受け身と使役 現代日本語の受け身と使役から見た現代日本語の特徴を明らかにします。
日本文化		今川 真治 教授 (教育学研究科)	日本の子育て文化と日本人の子育ての特徴 日本には古くから、子育てにかかわるさまざまな伝統行事やしきたりがあります。それらを概観するとともに、現代の日本における子育てにはどのような特徴がみられるかについて解説します。
		沖村 雄二 名誉教授	日本の庭園文化を探る 日本の庭園文化を探る 日本文化の源流について、地質学者が自然を大事にした諸外国の庭園文化を辿ってみますと、新たに暖かい関係が生まれてきそうです。
		金田 晋 名誉教授	日本の絵画-絵巻物の世界 第1部では、18世紀ヨーロッパに生まれた美学という学問の今日的意義を考えます。第2部では、今日クールジャパンの代表として知られるアニメやマンガの元祖「鳥獣戯画」甲巻を画像をとおして学びます。
		川野 徳幸 教授 (平和科学研究センター)	原爆被害の概要：物理的破壊、身体的傷害、被爆者援護施策 異なる原爆の特質である「原爆後障害」とはいったい何なのか、これらについてわかりやすく講義します。また、被害者である原爆被爆者への援護施策についても解説します。
		小宮山 道夫 准教授 (森戸国際高等教育学院)	原爆と広島平和記念都市 広島の前爆被害と広島平和記念都市建設の特徴について解説します。歴史文化平和研修で訪れる広島の復興の歴史について学びましょう。
		佐藤 大規 学芸職員 (総合博物館)	古い建物と日本人 日本には伝統的な建物（神社・寺院・住宅・城郭）がたくさん残っています。この講義では、そのような古い建物から見えてくる日本人の知恵や技術などについてお話しします。
		清水 則雄 准教授 (総合博物館)	東広島市の動植物～キャンパスの生き物から特別天然記念物オオサンショウウオまで～ キャンパスに生息する身近な日本の動植物から、日本固有種で世界最大の両生類オオサンショウウオまでその生態と環境、保全の考え方を含めて紹介します。
		高原 良彦 (株)坂田工務店社長	日本の建築 日本建築の伝統工法と施工事例等の魅力や特徴について説明します。かんながけ実演もします。

日本文化		友次 晋介 准教授 (平和センター)	日本の非核政策の展開 広島、長崎の経験に言及しつつ、日本の非核政策が歴史的にどのように形成されてきたかということについて取り扱う。とりわけ市民社会や政策担当者のなかで非核の規範がいかに強固なものとなったのかについて考察する。
		ハーレー 静代 日本折紙協会認定講師	折り紙文化 みなさんがよく知っている「折り鶴」に代表される折り紙ですが、この授業では伝統的な折り紙とは少し違った折り紙を体験してもらいます。この季節ならではの作品を折ってみましょう。
		本田 義央 教授 (森戸国際高等教育学院)	日本の環境問題 東広島市のゴミ分類方法の検討を通じて日本の環境問題への取組の虚実を明らかにすることをめざします。
		百々 隆雄 元広島アニメーションビエンナーレ 事務局長 (現広島電鉄)	アニメ文化論 アニメは日本が世界に発信する現代日本文化の代表であります。本講義では、日本のアニメ文化をコンテンツ産業と作品世界という二つの観点から論じることにより、アニメ文化を分析的かつ総合的に理解する方法を学びます。
		渡部 和彦 名誉教授	日本の伝統スポーツと礼—武術から武道へ（剣道の演技あり）— 「柔道」，「剣道」，「空手道」の呼称には「・・道」の共通部分があります。これは、日本文化を代表する「華道」，「書道」にも共通の思想的背景があります。スポーツと「礼」の視点から日本人の行動様式を解説します。

広島大学の学生との学生交流・相互学習時間のテーマ・内容の予定

(1) 日本と中国の学生生活 (2) 広島市歴史文化平和研修の見学先についての事前学習 (3) 宮島・錦帯橋歴史文化研修の見学先についての事前学習 (4) 京都歴史文化研修の見学先についての事前学習 (5) 日本の遊び（百人一首やいろはかるた） (6) 日本語の遊び（しりとりや早口言葉など） (7) 日本語の歌（日本語の歌を歌う） (8) 自慢したいこと (9) 日本の文化と中国の文化 (10) 成果発表準備 など
